

クラス番号	224	ゼミタイプ	サービスラーニング型（NPO 型）
		担当教員名	大林 由美子
テーマ	子どもを主人公とした地域づくりについて、市民活動を通して学ぶ		

ゼミナール概要

<担当教員の自己紹介>

私が福祉に興味を持ったのは、大人になってからでした。我が子を目の前にした時、この養育を将来の仕事にしたいと考えるようになり、保育士の勉強をはじめました。当時、託児・宅老所（NPO）で働きはじめましたが、「託老所」での高齢者の方々との関わりや、NPO としての地域づくりに魅力を感じ、高齢者分野や地域分野を中心にソーシャルワーク実践をしてみいました。現在は一般社団法人を立ち上げ、福祉分野の課題解決に取り組んでいます。「住民主体の居場所づくり」や「認知症の方や家族を支える地域づくり」、「介護分野の人材育成・組織づくり」にも興味関心を持ち、研究・実践をしています。

<目的・内容・方法>

知多半島には、多くの NPO があります。NPO は、志や使命（ミッション）を持ち立ち上がった団体です。地域にある課題に気づき、市民としてできること「こうなったらいいな」を考え、自主的な活動を通して課題解決を図っています。

本ゼミでは、知多半島の NPO 団体の地域貢献活動に参加させていただくことにより、子どもを取り巻く環境や地域について知り、地域で今何が求められているのかを理解することが出来ます。

「困ったときはお互いさま」の活動を通して、地域の人々の力の大きさや温かさを感じながら、「市民の一人として何ができるか」を考えます。学生だからできることも見つけることができるのではと思います。

本ゼミでは「多世代とつながる・つなぐ力」「関係を形成する力」「人々とともに課題を解決する力」ほか、多くの実践力を身につけることができるのではと思います。

【学習計画】

4・5 月 知多半島を知る NPO を知る NPO や地域の課題・ニーズを理解する

6・7 月 地域貢献活動の企画（活動先において、自分たちに何ができるかを考え、計画を立てる）

夏休み NPO での地域貢献活動（5 日間）

9・10 月 活動のふりかえり 活動報告会

11・12 月 グループ研究（活動を通して感じた・学んだこと等について、さらに調べて探求する）

12 月 グループ研究報告会

担当教員からのメッセージ

地域の中には困っていても「助けて」と言えず、あるいは、どうすればよいのかわからず、今もなお苦しい想いをしている人がいると思います。特に、幼い子どもは、そのすべを知りません。また、核家族化が進み、親も孤独のなかで育児をしています。単身世帯や高齢者世帯も増加しています。地域のなかでお互いが気かけあい、助けが必要な人を見逃さないような「つながり」や「場」が多くあれば、SOS の声は届くのではないかと思います。

このサービスラーニングを通しての学びにより、学生のみなさん一人ひとりの成長を感じています。思考の幅が広がり、将来の実践にも大きく役に立つのではないかと思います。地域での活動や地域の皆様から学ばせていただき、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりについて、一緒に考えていきましょう。